

## 平成 22 年 3 月常議員会議事録（案）

日 時：平成 22 年 3 月 24 日（水）10:00～12:00

場 所：日本建築学会東北支部会議室、テレビ会議

出席者：井上、渡辺(浩)、三宅、石川、浅里、増田、笹本、渡邊(裕)、五十子（議事録担当）、事務局（伊藤）

### 資料

- 0) 議事次第
- 1) 平成 21 年 12 月常議員会議事録（案）
- 2) 12 月・1 月・2 月会計報告
- 3) 第 30 回東北建築賞選考報告
- 4) 共催名義使用承認の報告
- 5) 2010 年度全国大学・高専卒業設計展示会の日程報告
- 6) 支部年報第 30 号発刊計画の報告
- 7) 2010 年度本部研究補助費申請の報告
- 8) 2010 年度総会について
- 9) みちのくの風 2010 山形について
- 10) 第 31 回東北建築賞の募集要項の確認
- 11) 東北工業大学からの後援依頼について
- 12) 東日本建築教育研究会からの協賛依頼について

### 議事：

#### 1. 前回議事録の確認（資料 1）

原案通り承認された。

#### 2. 報告事項

##### 1) 理事会報告・支部長会議(井上支部長)

3 / 1 1 学会本部で開催された理事会・支部長会議について井上支部長より報告があった。本会の一般法人化へ向けた定款の改定に伴い、支部の位置付けが変わる。お金は本部が管理することとなり、形式上支部独自の会計や支部交付金というものは無くなる。ただし、実質は支部が本部から権限を委譲されて活動するということが現実的である。また、支部長は学会理事となるので、支部のみに責任を負うのではなく、学会全体で何らかの不正等があった場合の責任を負うこととなる。ただし、支部長が自動的に理事になる現状のシステムでは法的にも問題があるので、今後議論が必要である。

##### 2) 12 月・1 月・2 月会計報告（資料 2）

標記につき、渡邊(裕)常議員より報告があった。

##### 3) 第 30 回東北建築賞選考報告（資料 3）

標記につき、事務局より報告があった。奨励賞は東北工業大学脇坂圭一氏に決定した。同氏が同時に応募していた業績賞については、今回は業績賞としないことが決定された。

##### 4) 共催名義使用承認の報告（資料 4）

第 5 回災害に強いコミュニティのための市民フォーラム(宮城県沖地震対策研究協議会主催)の共催名義使用につき、事務局より報告があった。同フォーラムは、本会東北支部共催でお金の支出もなく問題なく終了した。

5) 2010 年度全国大学・高専卒業設計展示会の日程報告（資料5）

標記につき、事務局より報告があった。東北支部は八戸工業大学、東北芸術工科大学、東北大学、日本大学（郡山）、秋田県立大学（本庄キャンパス）で開催されることとなった。

6) 支部年報第 30 号発刊計画の報告（資料6）

事業報告については事務局作成後、石川常議員に確認頂くこととなった。また、総務会で作成した新任常議員の役割分担予定案についても承認された。

本年度の支部年報に掲載する総会の議事録が未だ作成されていないので作成する（渡辺（浩）常議員）。署名委員は浅里常議員と石川常議員に願います。

7) 2010 年度本部研究補助費申請の報告（資料7）

標記につき、事務局より報告があった。来年度については構造部会から申請があり、受理されている。

8) RC 構造計算基準改定講習会の報告

2/26 に標記講習会が開催された。95 名の参加があり盛況であった。

9) 支部研電子投稿の報告

支部研究報告会原稿の電子投稿について、投稿フォームの不具合について報告があった。事務局の作業がスムーズに行くよう、改善点を整理して浅里常議員に集約する。

本年度は電子投稿 1 年目ということもあるので、投稿者に原稿確認メールを送信し、最終原稿を確認してもらうこととする。東北プリントの修正版プログラムについて、不具合を経験した投稿者に再度試してもらうこととする。これは、混乱を避けるため支部研究報告会終了後に行う。この件について、浅里常議員から東北プリントへ連絡して頂く。

これとは別に、投稿原稿が受理されていない場合がないか、支部会員に連絡して確認することとなった。

10) その他

特になし

3. 審議事項

1) 2010 年度総会について（資料8）

五十子常議員より総会プログラムについて説明があり、役割分担について審議した。当日は日本大学の学内行事があるので、松井常議員が欠席の場合、渡辺（浩）常議員が懇親会の司会進行を担当することとする。

2) みちのくの風 2010 山形について（資料9）

4 室分（+予備 1 台）の PC 切替器を購入する。招待講演については、講演者が PC を持ち込むと思われるが、念のため支部にて PC を用意する。

JIA 山形パネルについては、会場に合わせて枚数を決めてから募集する。受賞作品紹介は交代時間を考慮して 10 分を 8 分に縮める。

担当者については、早い目に連絡し、予定してもらうようにする。懇親会のマイクについて、渡辺常議員に確認頂く。構造系招待講演の講師小檜山先生に、事務局から正式な依頼状を送付する。会長を交えての昼食会の会費については事務局から本部に確認する。

3) 第 31 回東北建築賞の募集要項の確認（資料10）

募集要項に審査員の個人名を記載しない方が良いという議論があり、審査員は委員会名とすることが承認された。

4) 東北工業大学からの後援依頼について（資料11）

第 25 回東北建築フォーラム「第 4 回東北の建築を描く展」の後援について承認された。

5) 東日本建築教育研究会からの協賛依頼について (資料12)

標記の協賛依頼については、詳しい内容が不明であることもあり、協賛しないことが決定された。

6) 4月以降の事務局の体制について

事務局伊藤君より、4月以降の事務局の体制について相談があり、事務局の補助として予算の範囲内で、かつ手続き上・雇用契約上問題ないことが確認できれば、アルバイトを1名雇い入れることが承認された。

7) その他

渡辺常議員・笹本常議員より、学会作品賞受賞者記念講演会について、東北工業大学に直接打診があったが、支部で受けるべきではないかとの相談があった。これについて、依頼ルートを逆にたどって伝えることとする。

・次回日程

4月総務会 4月15日(水) 10:00~11:00

4月常議員会 ネットワーク会議

以上